

## テーマ GDW加速化予算 ～持続可能な市川三郷町の実現に向けて～

予算規模 **93億512万円** (一般会計)

3つの  
ポイント

1. 行財政改革推進計画の具体化
2. 健全な財政運営に向けた予算編成
3. 将来に向けた積極的投資の実現

### ポイント1 行財政改革推進計画の具体化

#### (1) 新たな取り組み

- **地域公共交通計画策定事業 (6,934千円)**  
地域公共交通体制の抜本的見直しを図るため、地域公共交通計画を策定
- **小中学校適正規模・配置検討委員会設置事業 (214千円)**  
教育環境の充実強化を図るため、適正規模・配置等を検討する委員会を設置
- **防災行政無線機能強化事業 (369,000千円)**  
災害時における情報伝達手段の強化を図るため、防災行政無線を更新

#### (2) 事務事業の抜本的見直し

主な取り組み

- **人件費 (▲48,103千円)**  
正職員 (195人→193人)、会計年度任用職員 (171人→153人)
- **大門碑林公園管理事業 (▲3,911千円)**  
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業 (金・土・日(祝日))
- **ふるさと会館・歌舞伎資料館管理事業 (▲5,731千円)**  
開園日数の縮小 週6日営業 → 基本週3日営業 (金・土・日(祝日))
- **ニードスポーツセンター管理事業 (▲7,534千円)**  
六郷の里運営委員会の答申を踏まえた利用料金改定等を実施 町内 400円 → 500円
- **つむぎの湯・いきいきセンター管理事業 (▲34,127千円)**  
近隣施設平均を参考に利用料金改定を実施 町内(大人) 500円 → 600円
- **シーリングによる一般財源負担の抑制 (▲314,185千円)**

➡ 縮減経費をもとに将来への積極投資を実現

### ポイント2 健全な財政運営に向けた予算編成

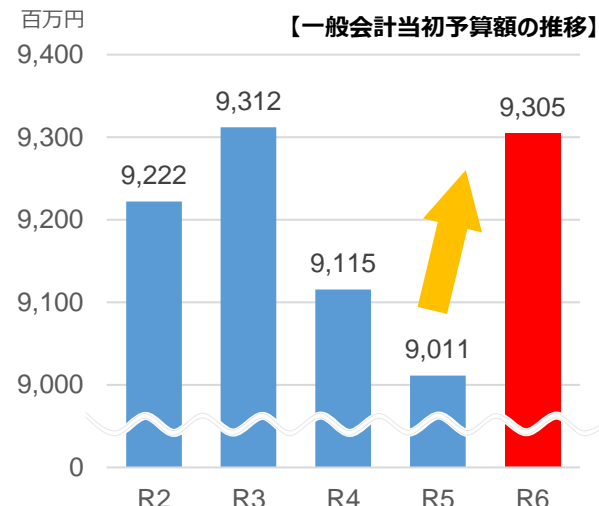
#### 予算規模 (一般会計)

積極的な財源確保や事務事業の抜本的見直しを行うことで、町民負担を抑制しつつ、

これまで実施できなかった  
新たな事業に着手

R5 9,011百万円

R6 9,305百万円



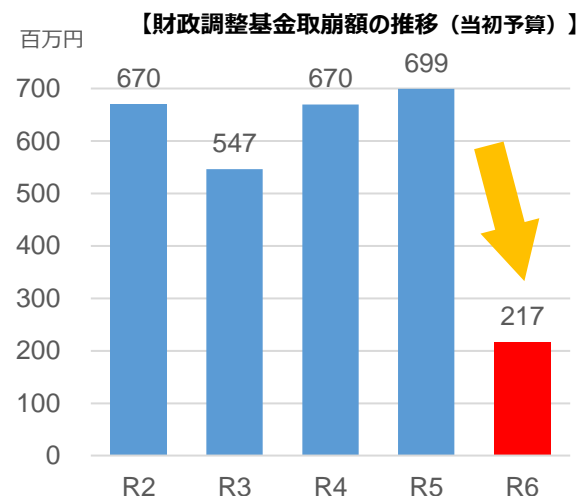
#### 財政調整基金の取崩額

さらに、

財政運営の持続可能性を  
確保するため取崩を大幅に抑制

R5 699百万円

R6 217百万円  
(▲482百万円)



※ 執行段階で更なる負担抑制を目指す

### 地域活性化施策の強化

- ④ 第3次総合計画策定事業 (10,195千円)
- ⑤ 六郷IC周辺基盤整備事業 (18,227千円)
- ⑤ 役場前線及び役場前南線整備事業 (4,700千円)
- ④ 青洲高校との協働による地域活性化事業 (50千円)

## GDW 加速化予算

### 新たな時代のニーズに対応した 新規・拡充事業を積極展開



### 高齢者支援の推進

- ⑤ 地域公共交通計画策定事業 (6,934千円)
- ⑤ 健康ビジョン加速化事業 (パッケージ) (8,721千円)
- ⑤ シニアライフ応援コーナー設置事業 (2,000千円)
- ④ 生活支援体制整備事業 (538千円)

### 民間活力の活用

- ⑤ 市川三郷町応援団ネットワーク事業 (1,045千円)
- ⑤ 市川公園MTBフィールド整備事業 (10,300千円)
- ④ 峡南ネクスト共創会議観光振興推進事業 (2,266千円)
- ④ オマーン大使館との交流事業 (135千円)

### 安心・安全なまちづくり

- ⑤ 防災行政無線機能強化事業 (369,000千円)
- ④ 民間木造住宅耐震改修等補助金 (5,000千円)
- ④ 災害時通信体制強化事業 (1,430千円)
- ⑤ たん水防除事業 (大塚地区) (2,600千円)

### こども子育て施策の充実

- ④ 学校給食費無償化事業 (50,108千円)
- ⑤ 小中高等学校入学祝金支給事業 (3,302千円)
- ⑤ こども計画策定事業 (6,889千円)
- ④ 不妊治療助成事業 (3,200千円)



# 健康ビジョン加速化事業

本町の高齢化率はR4年度38.5%と県平均より7.3ポイント高く、2045年には人口の54%以上が65歳以上となる見込み。また、R4年度70～74歳の生活習慣病の有病者は80%を超えており、高齢になるにつれ疾病の重症化や心体の活動低下が懸念。このような状況を打開すべく、4課合同で健康事業について加速的に取り組む。

## (1) 人間ドック助成事業

- ・ 精密な健康検査  
(生活習慣病発症予防)  
(生活習慣病重症化予防)  
(がん等の早期発見)

助成額の拡充による  
利用促進

健康寿命の延伸  
医療費適正化

## (2) 健康診査受診者 インセンティブ事業

- ・ 生活習慣病に着目した  
健康診査  
(生活習慣病発症予防)  
(生活習慣病重症化予防)

インセンティブ付与による  
利用促進

健康寿命の延伸  
医療費適正化

## (3) がん患者アピアランスケア 用品購入費助成事業

- ・ 医療用ウィッグや  
乳房補正具の助成

費用助成による  
負担の軽減

がん患者の  
経済的・精神的負担の軽減  
社会生活の復帰支援

## (4) フレイル・介護予防推進事業

- ・ フレイル、介護予防教室  
(運動、口腔、栄養)の実施
- ・ いきいき百歳体操の利用促進

効果的な事業展開による  
支援の拡充

高齢者の健康寿命の延伸  
介護給付適正化

## (5) 軽・中等度難聴者補聴器 購入費助成事業

- ・ 軽・中等度難聴者へ補聴器  
購入費の助成

費用助成による  
負担の軽減

高齢者の経済的負担の軽減  
社会参加・地域交流の促進

## (6) 緊急通報体制整備事業

- ・ 緊急時通報システム
- ・ 心身や健康相談・安否確認
- ・ 緊急出動要請や入院調整

モバイル導入による  
利便性の拡充

高齢者の安心生活を確保  
相談体制の充実

## 4課合同実施

### いきいき健康課

追加事業費  
(1)757千円  
(3)380千円

### 町民課

追加事業費  
(2)0千円(交付金有)

### 介護課

追加事業費  
(4)237千円

### 福祉課

追加事業費  
(5)606千円  
(6)418千円

誰もが地域で健康かつ安心した生活を送れる体制の確保

